

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2003/02/24 Vol. 124 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 1 回定例会が開催されます。

今回の定例会は 2 月 24 日（月曜日）から 3 月 25 日（火曜日）まで行われます。

「ぐんじとしのり」は、2 月 26 日（水曜日）午後 3 時 30 分頃から、60 分間の一般質問を行います。お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しください。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 3 月定例会 一般質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 市民参加のまちづくりについて

- (1) 市民の行政に対するニーズは十分に把握できていると考えるか。
その根拠はどのようなもので、どのような数値となって表れているのか。
- (2) 市民参加推進のための施策はどのようなものがあるのか。
政策形成あるいは決定への市民の参画はどのように保障されるのか。
- (3) 市民参加のための手続基準は明確になっているのか。
それは具体的にどこにどのようにあらわれているのか。
- (4) NPO 支援条例はどの段階まで検討されているのか。
- (5) 市民参加電子会議室の開催についてどのような検討が具体的にされているのか。

2. 校庭整備の方針について

- (1) 今年度までに行った校庭整備は満足の得られるものであると評価できるのか。
その根拠はどのようなものか。
- (2) 学校の砂塵対策としてスプリンクラーが設置されているが、効果は充分であるとはいえないと考える。印旛村平賀小学校においては周辺への防砂対策として校庭を芝生化した。市町村合併を考えるなかで、印西市では芝生化をどのように評価し、検討を行っているのか。また、前例がないと検討されないものか。

3. 牧の原駅圏の将来について

- (1) 牧の原駅南側の業務用商業施設誘致に関しての動きはあるか。
- (2) 郵便局の誘致に関して、どのような進捗か。
- (3) 医療施設の誘致に関して、どのような進捗か。

+++++

(解説) 校庭整備の方針について

印西市内の各学校の校庭（特にニュータウン内学校）については、開校当時より砂塵により部分的にトラックの縁石が突出したり、暗渠管の碎石が散乱して、校庭での活動が危険な状態にあるとともに、四季を問わず風が強い日には近隣住宅から苦情が寄せられているのが現状です。このため、市では、「グラウンド全体を整備/整地するとともに、砂塵対策として比重の大きい舗装材を採用し、また散水機能の向上を図り良好な校庭を整備したい」と考えているようです。しかし、市が考えている校庭整備事業と市民が望む校庭整備の方向とずれてはいないでしょうか？ - 裏面に市が考えている「校庭整備事業(屋外教育環境整備事業)」の予定を来年度より平成 24 年度までを記載します。

校庭整備事業 / 市内4小・中学校 事業費予算 各年度5000万円 総予算2億円

平成15年度 高花小学校 / 平成16年度 小倉台小学校

平成17年度 小林中学校 / 平成18年度 木下小学校 平成19年度以降 予定なし

- * ここに記載されていない学校については、整備済みの学校も含まれますが、平成24年度迄は校庭整備については必要があれば行っていくとの説明を既に教育委員会より聞いております。「市町村合併を考える」現在、隣の印旛村平賀小学校では校庭が芝生です。さらに、文部科学省からは「屋外教育環境整備事業」で、「補助金」として支援も行ってあります。それに対して、印西市はこのままの対応でよいのか？ 今回の議会では、市の姿勢をただしたいと考えています。

任意合併協議会の現状(3) ~ 法定協議会設置議案の提出へ

2/16(日曜日)に第4回の協議会が開催され、栄町が協議会からの退会を正式に表明し、他自治体の承認を得ました。(既に2/9(日曜日)付新聞誌上に発表はありましたが、今回の協議会が正式表明となります。町長と議長から今回の結論に対する説明とお詫びがありました。)これにより、5市町村による協議会は解散され、同日、2市2村(印西、白井、印旛、本埜)による話し合いの場が持たれ、今後の方針が話し合われました。-この話し合いの中で、2市2村の首長から今後の取り組みについての考え方が示されました。以下に紹介します。

白井市長 / 2市2村で新しいまちづくりにむけて、検討して行こうということまで一致している。さらに住民福祉の向上を図るように最大限の努力をしていく。平成17年3月の特例法の期限にむけて、法定協議会の設置を3月で考えたい。

本埜村長 / 2市2村での法定協議会設置について)何ら、異存はない。1日も早い法定協議会の設置を求めて行きたい。

印旛村長 / 任意協議会のなかでは金銭的なことが話題になっていたが、(法定協議会では)どのような街にしていくのかを考えて行ければと思う。

印西市長(座長) / 2市2村の合併にむけて、3月議会での議案提出を考えたい。

ぐんじとしのり より

印西市では5市町村による、任意合併協議会の開催以前に「市町村合併に関する庁内研究会報告書」の作成が平成14年3月に行われ、この報告書の中で2市2村の合併について「合併財政支援」に関するデータの検討や職員数のシミュレーション等、期待される効果や課題も検討された経緯があります。今後は4自治体が3月議会にむけてどのように資料を分析し、議案提出にむけて協議資料をまとめていくかが焦点になります。尚、白井市では鎌ヶ谷市からの法定協議会設置要求を受けている現在、白井市長が市議会に協議会設置を付議するかどうかの判断をすることになります。(協議会を重複設置する事は考えにくく、「二者択一」を迫られることになります。) ~会議は公開で行われ、16名の傍聴者がありました。(印西市議の傍聴者は僅か3名(松本隆志、渡部、ぐんじ)のみの出席でした。/印西市の議長、副議長は協議会委員で出席。)

(参考)国の動きについて

2月8日(土曜日)片山総務相は和歌山県白浜町で講演し、市町村合併について「合併特例法(05年3月まで)の期限切れ後も、合併手続きを進めている自治体に対しては、優遇措置の適用を検討したい」と述べ、特例法後も支援していく考えがあることを示しました。これは合併を検討中の自治体から「手続きなどに時間がかかり過ぎる」という不満がでていることを受けたもので、期限を事実上延長する発言と受けとめられます。(合併手続きには県議会の承認等だけで半年ほどかかります。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は3月議会のご報告をさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

ぐんじとしのり